

古今東西 くんぐん 行きます!

郡市長がさまざまな現場を訪問し
市民の皆さまの活動の様子な
どをお伝えします

桜ヶ丘小学校を訪問し、「桜ヶ丘放課後子ども教室」の活動を支えるスタッフの皆さんにお話を伺いました。

日本の伝統文化に親しむ

放課後等に小学校で、地域の方などの協力を得て、子どもたちに学習やスポーツ、地域に根差した体験活動等の機会を提供する「放課後子ども教室」。桜ヶ丘放課後子ども教室は、令和元年より活動を始めています。

この日の活動は、2年生が参加する、おひな様カード作り。私も子どもたちに教わりながら折り紙を折り進めると、かわいらしいおひな様が出来上がりました。子どもたちは、工夫を凝らして完成させたカードを見せ合っていて楽しそう。会話の中で「笏」「檜扇」といった言葉が自然と出てきて、驚きました。運営委員長の田口一嘉さんは「近隣の高校、大学にも協力いた

だきながら、日本の伝統文化に親しむ活動や食育等に取り組んでいます」と話します。「授業のデジタル化など、環境が変化しているからこそ、変わらざる受け継がれてきた伝統や食文化を伝えていきたいという思いがあります。季節感も大事にするよう心掛けています」と平田慶子さん。その活動は、七夕飾り作り等の伝統行事に関する催しや茶道、米作りなど多岐にわたり、子どもたちから「すぐろく大会をやりたい」など提案されることもあるとのこと。

田口運営委員長は「茶道も作法を覚えることが目的というよりも、和の文化を知り、親しむ機会になれば」と話します。子どもたちから、ここでの活動を家庭や地域で話し、会話が弾んだとの話を聞くこともあるそう。多彩なテーマが子どもたちの興味関心を広げ、地域との交流の糸口にもなっています。

子どもたちに学ぶ喜びを

皆さんの活動のキャッチフレーズは「はあばと遊ぼう」。自分たちも楽しみながら活動することを大切にしています。我妻栄子さんは「子どもが好きで一緒に遊んだり、笑ったりと楽しい。活動に誘ってもらったことに感謝しています」と笑顔で話します。佐藤光子さんも「子どもたちの来て良かったという声や、作品が完成してうれしそう

な表情を見るとやりがいを感じます」と続けます。子どもたちの豊かな感性に触れ、素晴らしさを感じる日々だと

話す皆さん。親交を深める中で、その成長を間近で感じておられるのですね。平田さんは「地域の人と触れ合いながら視野を広げ、チャレンジする気持ちを大切にしてほしい」と未来へ期待を込めます。田口運営委員長も「学ぶことは喜び。学びにつながる活動を通して子どもたちの成長の力になれたら」と力強く話してくださいました。

地域で豊かな育ちを支える

和気あいあいと活動を楽しむ子どもたちと、それを優しいまなざしで見守る皆さんの姿が印象的でした。かつて暮らしの中に息づいていた伝統文化は、生活環境の変化等により、経験する機会が減少しています。伝統文化を大事にしたいという皆さんの活動は、先人から受け継がれてきた思いを伝え、子どもたちの豊かな育ちを支えているのだと実感しました。

世代を越えた多くの人との交流や、多様な経験は、子どもたちに大きな学びをもたらします。地域全体で子どもたちを育む環境づくりに向けて、一層取り組んでまいります。

桜ヶ丘放課後子ども教室



田口一嘉さん



平田慶子さん



我妻栄子さん



佐藤光子さん

